

平成 16年 5月 28日

各 位

株式会社 UFJホールディングス

日本信販株式会社と株式会社 UFJカードの合併について

株式会社 UFJホールディングスの 99.9%連結子会社である株式会社 UFJカード(社長 安藤光隆)と日本信販株式会社(社長 大森一廣)は、別紙のとおり、両社株主の承認と関係当局の認可を前提に合併することについて、本日、基本合意いたしましたのでお知らせいたします。

以 上

平成 16年5月28日

各 位

日 本 信 販 株 式 会 社
(コ ー ド 番 号 8 5 8 3)
株 式 会 社 U F J カ ー ド

日本信販株式会社と株式会社UFJカードの合併基本合意について

日本信販株式会社(社長 大森一廣、以下日本信販)と株式会社UFJカード(社長 安藤光隆、以下UFJカード)は、本年1月より事業競争力の強化を目指し、合併に向けた検討を進めてまいりましたが、本日、合併基本合意書の締結に至りましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 基本合意の概要

(1) 商 号

合併後の新会社の商号は、「UFJニコス株式会社(英文表記:UFJNICOS Co., Ltd.)」
といたします。

(2) 合併期日

合併期日は、平成17年4月1日を目処といたします。

(3) 存続会社

存続会社は、日本信販株式会社といたします。

(4) 本店所在地

新会社の本店は、東京都文京区(現 日本信販本社)といたします。

(5) 代表取締役社長

新会社の代表取締役社長には、大森 一廣(日本信販 社長)が就任する予定です。

(6) ブランド戦略

新会社は、「NICOS」「UFJ」の両ブランドを戦略的に活用してまいります。

日本信販が展開する「NICOS」ブランドは、消費者信用産業のパイオニアとして長い歴史の中で培ってきた様々な事業展開を通して、多くのお客様・加盟店様・提携先様から、幅広い支持を頂いております。

一方、UFJカードが展開する「UFJ」ブランドは、UFJグループの総合的な金融サービス機能のトータルブランドとして、強い支持を頂いております。

新会社は、両ブランド資産が持つ、それぞれの個性・強みを積極的に活かし、チャネル・商品・サービスごとの戦略的活用による広範なブランド訴求を図り、双方のビジネスフィールドの深耕・拡大による顧客の最大化を目指してまいります。

(7) その他

合併後の経営体制等については別途協議のうえ、また、合併比率については専門家の評価も得たうえで決定いたします。

2. 合併の目的

新会社は、相互の経営基盤やノウハウを結集し、より質の高いサービスや先進的かつ魅力的な商品の提供を通じて、お客様・加盟店様・提携先様から圧倒的に支持される、リテール金融業界のリーディングカンパニーを目指してまいります。

また、両社の強みの極大化と機能補完による事業基盤の拡充、重複業務の効率化などを積極的に進めることにより、収益力を飛躍的に高め、企業価値の向上を実現してまいります。

3. 新会社の特長

(1) 国内最大・最強のカード会社の誕生

新会社はカード業界 1企業となり、規模のメリットを活かした収益向上を目指します。

顧客基盤 カード会員数 : 2,000万人

全国展開型(日本信販)と三大都市圏集中型(UFカード)の統合で顧客重複少なく、補完性高い。

事業規模 カード取扱高 : 約3兆7,000億円(平成15年度実績)

ローン残高 : 約1兆1,000億円(平成15年度実績)

連結経常利益 : 720億円(2社の平成18年度計画の単純合算)

引続き、合併による合理化効果やUFグループとのシナジー戦略の具体化を検討し、本年中にあらためて詳細な事業計画を発表予定。

(2) 信販系カード会社と銀行系カード会社の特色ある基盤と機能の最大活用

両社は、それぞれ信販系・銀行系としての歴史や事業展開の特徴から、特色のある営業基盤や事業ノウハウを保有しております。新会社は、これらを融合し補完を図ることで、お客さまの多様なニーズにお応えしてまいります。

チャネル : 銀行店頭、日本信販営業店網、加盟店、提携先企業などお客様との多様な接点によるコミュニケーション。

サービス : 幅広い提携先との連携による多彩なサービスカスタマイズ機能(日本信販)と、銀行基盤を活かした総合的な金融サービス機能(UFカード)の融合。

加盟店基盤 : 物販業態(日本信販)やトラベル・レジャー・料飲食業態(UFカード)など、それぞれに強みを持つ幅広い加盟店網を保有。

(3) UFJグループが保有する金融機能とのシナジー効果の追求

新会社は、UFJグループのリテール部門の中核企業として、グループ各社との間でさまざまなシナジー戦略を展開してまいります。新会社の高度なカードビジネスインフラにUFJグループが保有する総合的な金融機能を融合させることにより、新たな付加価値を創造し、顧客満足の向上を図ります。

4. 今後の検討体制

平成16年1月20日付けで、日本信販、UFJカードおよびUFJ銀行の3社による合併推進委員会(委員長:日本信販社長 大森一廣)を設置しております。この度の合併基本合意締結を受け、本委員会の陣容を拡充し、引き続き、新会社の事業計画などの詳細を検討・協議してまいります。

以上

(別紙)日本信販およびUFカードの概要

(平成16年3月31日現在)

商号	日本信販株式会社	株式会社UFカード
主たる事業内容	クレジット業	クレジットカード業
設立年月日	昭和26年6月	昭和43年4月
本店所在地	東京都文京区	東京都千代田区
代表者	大森 一廣	安藤 光隆
資本金	136,712百万円	1,399百万円
発行済株式総数	普通株式 303,178,100株 種類株式 200,000,000株	26,234,796株
決算期	3月31日	3月31日
株主資本	1,185億円	160億円
総資産	3兆4,063億円	3,190億円
従業員数	4,609名	924名
主要株主及び議決権比率	UF 銀行 7.82% 日本生命保険 5.13% 太陽生命保険 4.97%	UF 銀行 99.98%
主要銀行	UF 銀行	UF 銀行
カード会員数	1,431万人	871万人
カード取扱高	2兆4,878億円	1兆5,415億円
うちショッピング	1兆7,353億円	1兆1,834億円
うちキャッシング	7,525億円	3,581億円
加盟店数	1,520千店	1,578千店

日本信販株式会社のカード関連計数は、連結数値となります。

株式会社UFカードのカード関連計数は、グループ合算の数値となります。

【本件に関するお問い合わせ先】

日本信販広報部 03- 3817- 1094

UFカード企画部 03- 3242- 0605

日本信販とUFJカードの 合併基本合意について



2004年5月28日

日本信販株式会社
株式会社UFJカード

1. 合併新会社の概要



商号

UFJニコス株式会社

(英文表記「UFJ NICOS Co., Ltd.」)

合併期日

2005年4月1日を目処

存続会社

日本信販株式会社

本店所在地

東京都文京区(現 日本信販本社)

代表取締役社長

大森 一廣 (日本信販 社長) 就任予定

ブランド戦略

“NICOS” “UFJ” 2ブランド戦略

合併比率」
事業計画」等
については
2004年内
に発表予定

合併の目的

相互の経営基盤・ノウハウを結集し、より質の高いサービスや先進的かつ魅力的な商品の提供を通じて、お客様・加盟店様・提携先様から圧倒的に支持される、リテール金融業界のリーディングカンパニーを目指します。

両社の強みの極大化と機能補完による事業基盤の拡充や重複業務の効率化などを積極的に進めることにより、収益力を飛躍的に高め、企業価値の向上を実現します。

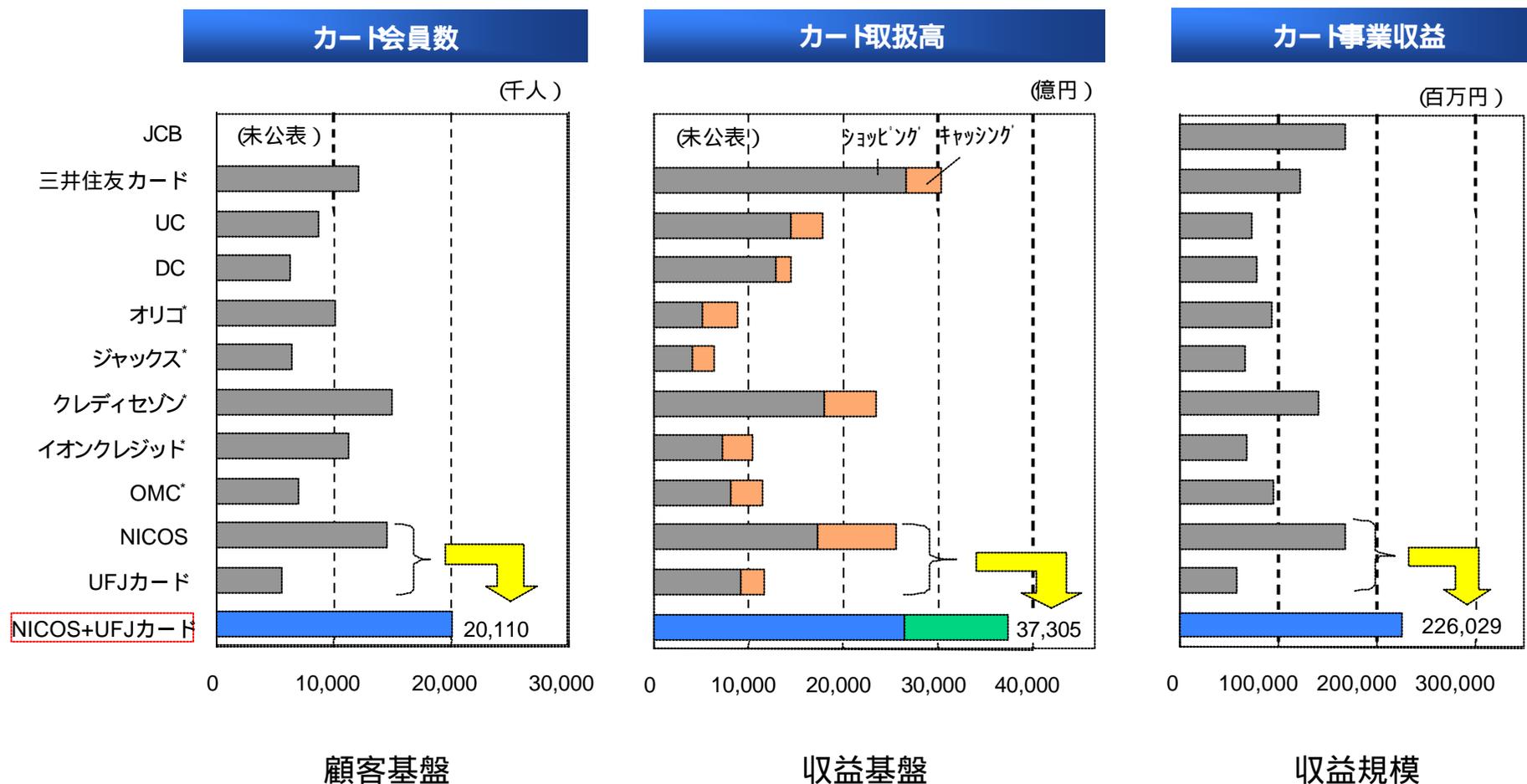
新会社の特長

リテール金融No.1を目指すUFJグループの中核を担う日本最大・最強のカード会社へ
信販系カード会社と銀行系カード会社の特色ある基盤と機能の最大活用
UFJグループが保有する総合的な金融機能とのシナジー効果の追求

2 :日本最大 最強のカード会社の誕生 (合併時のポジション)



~ 「顧客基盤」 「収益基盤」 「収益規模」における“カード業界No.1企業”へ



出典：

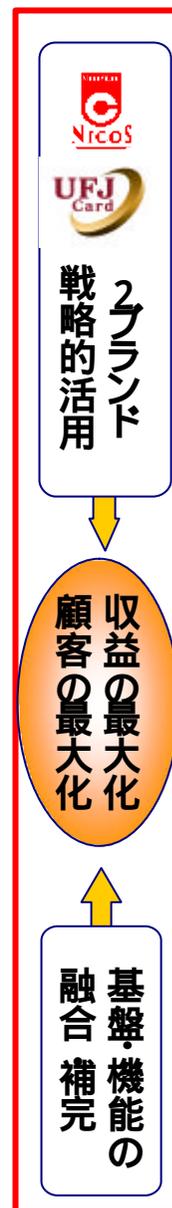
1. 月刊消費者信用 (2003年9月)より2003年2月または3月期のデータで、カード会社 (又は信販会社) 単位での比較
2. 各社のその他公表資料を参考
3. NICOSは連結子会社を含む

* カード事業収益 = 総合あっせん収益 + 融資収益 で算出

3 両社の特色ある基盤・機能の最大活用



	日本信販	UFJカード	UFJニコス の方向性	
営業基盤	企業ブランドイメージ	・Nicosの強いイメージ 親しみ / 明るい / 活発 (博報堂=ブランド評価調査)	・UFJカードの強いイメージ 堅実 / 誠実 / まじめ (博報堂=ブランド評価調査)	・両社の対照的なブランドイメージを活かし より幅広い顧客層に訴求
	入会チャネル	・提携先ネットワーク ・Nicos営業店ネットワーク ・個品事業からのカード会員化	・UFJ銀行支店ネットワーク ・UFJ取引先ネットワーク ・提携先ネットワーク	・Nicos系 + UFJ系の双方のビジネスフー ルドの深耕・拡大による、顧客の最大化
	顧客分布エリア	・首都圏を主軸とし、全国に偏り なく保有 (全国に分散する営業 拠点網 123店)	・3大都市圏に集中、中部地 区トップシェア (3大都市圏を中心に銀行 拠点網 420店を活用)	・全国展開型と3大都市圏集中型の統合の ため顧客の重複も少なく、補完性高い 効率的なエリア別マーケティングによる利用 促進
	会員サービス	・幅広い提携先との連携による 多彩なカスタマイズ	・UFJグループの基盤を活か した総合的な金融サービス	・既存サービスの有機的な結合と新たな サービス開発による付加価値の向上
	カードブランド	・VISA ・MasterCard ・Nicos=最大の国内専用ブランド	・VISA ・MasterCard ・JCB	・国際主要ブランド/MJ + 国内専用Nブランド の幅広いラインアップの活用
	加盟店業態構成	信販会社としての歴史から 物販業態が多い	・トラベル、レジャー、料飲食 業態が多い	・既存加盟店の重複も少なく、補完性高い ・幅広い提携網や銀行機能を武器とした 新たなビジネスチャンスの創出
事業展開	B2C	・プロパーカード ・ファイナンス	・プロパーカード	信販系カード会社および銀行系カード会社と しての歴史や事業展開の特徴から、特色の ある営業基盤や事業ノウハウを保有 両社のインフラ・ノウハウの融合と補完によ り、一層の高度化と効率化を図り、最適な 事業構造やコスト構造を構築
	B2B2C	・提携カード ・ショッピングクレジット / オートローン	・提携カード ・法人カード	
	B2B	・融資保証 ・集金代行 / EC / IT業務受託 ・カードプロセッシング	・フランチャイズ制度 ・カードプロセッシング	



4 主要経営指標



財務指標	04/3 (実績)		04/3 (実績)	07/3 (計画) ¹		07/3 (計画) ¹
	日本信販 (連結)	UFJカード	2社単純合算	日本信販 (連結)	UFJカード	2社単純合算
営業収益 :	2,925 億円	615 億円	営業収益 3,540億円	3,070億円	772 億円	営業収益 3,842億円
経常利益 :	154 億円	53 億円	経常利益 207億円	600億円	120 億円	経常利益 720億円
当期純利益 :	2,161 億円	26 億円		380億円	64 億円	
株主資本比率 :	3.1 %	5.0 %		5.2 %	10.3 %	
有利子負債 :	10,606 億円	2,257 億円		10,320億円	2,874 億円	
ROE :	-	13.9 %		21.8 %	15.7 %	
カード取扱高	カードショッピング :17,354 億円	9,611 億円	カード 取扱高 36,949億円	21,770 億円	13,994 億円	カード 取扱高 46,697億円
	カードキャッシング : 7,525 億円	2,459 億円		8,390 億円	2,543 億円	
	カード計 :24,879 億円	12,070 億円		30,160 億円	16,537 億円	
ローン残高	ローン残高 ² :	9,647 億円	ローン残高 11,063億円	10,770 億円	1,861 億円	ローン残高 12,631億円
		1,416 億円				

合併新会社の事業計画は2004年内に発表予定

1 両社の現行計画値を記載
 2 ローン残高 = カードキャッシング + カードローン + 証書貸付 (流動化前)